

恵那南地区中学校再編についての地域説明会議事録

開催日時 令和5年3月8日(水) 午後7時～
開催場所 明智文化センター
出席者 明智地域の方 72名
 その他の地域の方 13名
説明のため出席した事務局職員等 14名

開 会 (午後7時)

教育長 挨拶
室長 恵那南地区中学校開校に向けての説明

参加者 次年度、明智小学校のPTA会長の予定者の伊藤と申します。日頃は教育委員会の皆さんにおかれましては、子供たちのために頑張っていただきまして感謝しております。この件において、また何度も明智に通っていただきまして、ありがとうございます。個人的な意見はですね、違う場で申し上げていますので今日はありませんが、質問する側のモラルについて、ちょっと気になることがあります。

先日かえでホールで行われた統合説明会ですが、非常に攻撃的というか喧嘩腰で発言、質問される方が多かったように感じます。誰もが喧嘩を聞きに来たわけじゃありませんし、我々小さい子供を持つ当事者として、統合について正直どうしていいのか、ちょっと分からんという親御さんも多いと思うんです。かえでホールの時はですね、今後へ向け非常に不安がっていた親御さんが多かったもんですから。質問者においては青筋立てながらではなく、冷静に討論していただきたいと思った次第であります。少し話が逸れましたが、ごめんなさい以上です。

副室長 ありがとうございます。

参加者 どうも皆さんご苦勞様です。ちょっと質問させてもらいます。今、説明の中で、ずっと飛んで4年ほど前に大々的に説明されたけど、今回の説明の中で、3、4年はなんか空白の期間があって、今言われたように皆さんが夜ね、討議をしてみえたと思うんですけど、そうすると町民の皆さんになかなか行き渡らないじゃないですか、役員だけがやるとか。そういうことを実際にやられていたことがどうもね、うまく受け取れないと思うんですよ。そういうことは、この3、4年間はなぜやらなかったのかなということ、きちっと皆さんに周知徹底できるようなやり方ができなかったかということ、ちょっと思いました。それから、ちょっといいですか。

副室長 まず、そちらについて回答をさせてください。

参加者 それについてしっかりした説明をきちっとやってほしい、お願いします。

教育長 ありがとうございます。平成の26年、7年度ですかね。答申をいただいてから、

その中で付帯決議っていうかですね。もっとうこういうことも考えた上で、さらにこれ進めてねっていうこともいただきました。そこで、教育委員会も18の課題等含めて検討もさせていただきました。それから平成31年の4月から8月までは、先ほど説明があったように、保護者の方等を対象にしたアンケートと言いますかね、意見聴取もしています。課題を解決できるものもあれば、また新たな課題が生まれるっていうこともあって。それについて、色々検討を内部ではしておりました。それからもう1つ、地域へももっと行きたかったところもあるんですけども、1つは、コロナの関係で少し活動が止まってしまったってこともあります。それから情報の提供については、なかなか市民の皆様等にですね、情報が行かなかったっていうことは、確かかなということをおもっています。それについては、あの本当に申し訳なかったと思っていますし、これからはできる限り、情報を早くお出ししていきたいなということをおもっています。

参加者 先ほど佐々木さんが淀みなく話をされて本当に感服しましたね。そんなうまい具合に私は話ができませんが、適正規模についてちょっとお聞きします。1月のかえでホールで、3年後すぐに1校っていうのはちょっと早すぎやしないですか、とか、増改築のことも出ました。スクーバスの通学時間のことも問題になりました。ちょっと早いんじゃないですか、もうちょっと遅らせたらどうですか、ということをおもって私が言いましたところ、岡田教育長さんが1学年3クラスが適正規模だと考えておられますと、こうおっしゃったんですね。クラス替えができる1学年で3クラスが適正規模であるとおっしゃいましたが、私逆に聞くんですが、1学年2クラスとか1学年4クラスっていうのは、適正規模じゃないんでしょうか。まず、それからお答えください。

教育長 ありがとうございます。まず、学級替えができるということでおもいますと、2クラスでもできるんですけども。もう1つ、中学校の教員の定数も見ていただくとわかるんですけども、7学級を超えると、11名以上の教員が配置できるんです。そうすると、専門の教科の先生が配置できるようになります。そうすると、少なくとも…。

参加者 すみません。あのね、適正規模というのは何クラスかを言っていたらいいです。他の説明いりません。

教育長 私たちは3クラスと考えています。

参加者 じゃあだから私聞ってるじゃないですか。2クラスとか4クラスは適正規模じゃないんですかって聞けるんです。

教育長 3クラスが教員の確保のことも考えるといいという風に考えています。

参加者 だから、私の質問に答えられないじゃないですか。2クラスとか4クラスは適正規模なのか、適正規模でないのかお答えください。

教育長 2クラスでは十分ではない。それから、4クラスは別にそれは問題ないと思います。4クラスでもいいと思います。

参加者 ということは、岡田教育長さんは適正規模というのは3クラスだけれども、4クラスでもいいと。それはちょっと不十分だけれども2クラスでもいいよと。

教育長 全くダメというわけではないです。

参加者 全くダメじゃないですから、それでもいいよ、というイメージよね。

教育長 そうです。

参加者 ということは、適正規模というのは、1学年2クラスから4クラスの幅になりますね。そういうことでいいですか。

教育長 そうですね。

参加者 じゃあその関連してね、もう1つ。とにかくもう1つ、適正規模のね、クラスのことと繋げてもう1つ聞きたいんですよね、お願いします。

出生数の推移っていうところがありますね、説明資料の中で。27年度の生まれた子供の人数が1番左に出ますが、私が疑問に思ったのは1つです。先ほど、佐々木さんの方から恵那北中学校は頑張ってますよということで、お褒めの言葉を述べてみえましたが。恵那北中ですね、これ出生数、そのまま在校生徒数っていう風に見えるわけにいきませんが。ここに笠置、中野方、飯地の方みえますか、ここに。出身の方。あ、みえます。すいませんね、そんなことで例を出して申し訳ない、ごめんなさい。この3町が恵那北中を作ってるんですね。この平成27年を見てもらうと、2と6と3を足すと11名です。そんな人数よりももうちょっと大きくなってると思いますが。ホームページで調べたら20名前後ですね、今。3町合わせて恵那北中が20名前後です。そうなってます、ですから、この通りではないんですが。じゃあその下を見てください。岩村町が25、山岡町が19、明智町が35。恵那北中よりもですね、岩村とか明智の方、人数が多いんです。人数が多いのに、閉校で統合されちゃうんです。岩村や明智よりも少ない恵那北中が。ごめんなさいね、悪いこと言ってます。恵那北中の方が人数が少ないのに、これ多分統合するとしたらですね、恵那西中の方へ行きますね。恵那西中の方へ統合。少ないのに残ってる。なんでこんな不公平なことが起きるのかなと。同じように進めてほしいんです。人数が問題なら。恵那北中も閉校にするべきじゃないですか。岩村と明智を閉校にするなら。

教育長 ありがとうございます。私は不公平だとは思っておりません。恵那北中学校も1度3校を統合した中で、また段々少なくなってきたっていうことを考えると…。

参加者 私が言ってるのは人数です。人数の問題です。

教育長 分かりました。今の段階ならば恵那の南地区もですね、3クラス4クラスの学校ができて、子供たちのために環境は良くなるという風に考えた時に、やるという方向で考えるということが言えるんじゃないか。

参加者 答えになっていません。答えになっていない。

教育長 いや、だから…。

参加者 人数の少ないところが残ってて、それよりも多いところが閉校になるのはどうしてですかって聞いているんです。

教育長 それは、1回統合してから人数が減っているということで、意味が違うと思います。

参加者 あのね、クラス替えをしないとダメでしょ。

参加者 1人1回じゃないの。

副室長 すみません、お待ちください。他にもご意見のある方がいらっしゃいますので。

参加者 そういうところはやめようって言ったじゃん。

参加者 それじゃあまたあとでお願いします。

参加者 そういうのを僕は言ったんです。熱くならないようにって。

副室長 それではご意見のある方、よろしくお願いいたします。

参加者 この前のかえでホールの話で、前向きな意見を言うてくださいって言われたので、ちょっと子供とも色々話したんですけども。うちの奥さんの学校なんですけど、こういう統合をされたところなんです。それで、10人とか5人とかのところが統合してきて、もう100人クラスのところと統合したらいいです。そうすると、どうしても小さいところは固って、大きいところは固まってってなっちゃって。その小さい人たちが、あそこの子たちは田舎だからどうのこうのっていう話に、やっぱりどうしてもなっちゃうよっていう話をされたんです。そういうことがないように、統合するんだったら、もう本当に早い段階から子供同士顔を合わせて、今だったら、インターネットの授業がなんでもできるじゃないですか。そういうことで、しっかり子供たちのケアをしてほしい。大人の意見なんか、ほとんどはつきり言ったら関係ないんです。統合して1番困るのは子供たち。子供たちの方をケアしてもらいたい。はつきり言ったら、私たちは当事者じゃないんです。子供を送って行ったりすることはあるかもしれないですけど、授業を受けて、そこで学んでいくのは子供たちなんで、そういうことを本当にしっかりしていただきたいです。それで、今統合する子供たちだけじゃなくて、3年が卒業して、次に入る子供たちも結局同じことになっちゃうんで、そういう子供たちもずっと続けて、小学校の頃から話し合って顔を覚えて、みんなで楽しくやっていけるようにしていただきたいです。

教育長 はい、ありがとうございます。私たちもそのような準備を進めておりまして。今日も公聴会等でも、中学校だけの問題ではなくて、小学校からそういう活動を仕組んでいってほしいと。そのために使えるものは何でも使うと。ただ、ICTだけではなくて、やっぱり直接顔を合わせて活動するというようなことも含めて、そういう活動をこれから多く作っていきたいと考えています。

参加者 私は市場町の星島といいます。明智中学校を卒業している者です。今日の説明を聞いてもこの広い、本当に広い恵南の地域ですね、1つの中学校にするっていうことは、本当に大変なことだと思うんですね。お隣の瑞浪市では、恵南よりも狭い地域ですけども、2校に統合するということになったようですね。子供たちの負担のことを思うと、2校ってというのは私もちょっとよくわかりませんが、子供たちのことを考えると、先ほど串原とか上矢作のことも言われましたけども、1時間以上かかる子供たちもいるという風に聞いていますので、通学の時間ですね。そういう負担もある中で、なぜそういうことをしなければいけないのでしょうか。もっと、ゆっくりと統合のことを考えていくことはできないのでしょうか。以上です。

教育長 ありがとうございます。できるだけ良い環境で、子供たちが学べるといいなっ

てことは皆さんも一緒だと思います。そうした時に今から3年後ならば、3クラス、4クラスということになるかもしれませんが、その学校が実現できるということを考えると、私たちはそちらを進めていきたい。

それで、もちろん登校も時間かかるってこともありますけれども、現実には1時間近くかかって歩いて登校している子もいることを考えると、バスの中でどのように過ごすかっていうことも含めて、工夫していくっていうことも私たちの大切な課題であるなという風に思っています。

参加者 先ほど青い服の方がおっしゃってたんですけど、子供たちってこのことについて、どう考えてるかってちょっと気になっちゃって。令和8年度っていうと、今の4年生が令和6年度で、5年生、6年生で、中1の時には新しい中学校に入ることですよね。4年生ぐらいだと、多分ディベートできると思うんです。自分の考えを持って。ただ、地域の保護者の方の考えとかも関わりがあるので、なんとも言えないと思うんですけど、各地域の小学校、中学校の子が当事者ですよ。この子供たちがこの統合についてどう考えてるのかを、今も日本全部の学校、主体性がテーマなので、ぜひやっていただきたいなって感じました。で、その子供たちの意見を取り上げてもいいのかなって思います。もっと全国的にニュースになると思いますし。よろしくをお願いします。

教育長 ありがとうございます。実際にアンケートを取ったとか、賛成ですか反対ですかかって、そういうことは子供たちにまだ聞いておりませんし、これから学校が統合するってどういうことなのかとかね、そういうことも含めて、小学校でも中学校でも考えていけるような、そんな工夫をしていきたいと思います。感想ではないんですけど、昨年度かな。今の恵那南地区の中学校には、大きなモニターですね。そういうのを入れたりして、各学校と交流ができるようなこともやっています。その中である子供、これは全員じゃないんですけども、ある子供が、こんな風にして恵那の南地区の子供たちと、仲間と知り合いになれると、これで西中や東中と同じような感じになる。競え合えるなというようなことをぼそっと漏らした子もいますので、期待をしている子もいるのではないかと、思っています。

参加者 新井町の伊藤と申します。28年度に答申が出て、確かに5年、6年空白がありました。その間に討議をしてきたと言いましたけれど、去年、再編委員会、教育等を考える会で、3回の会議でこの提言が、結論が出たっていう風に見てると思うんですが、その答申が出るまでの会議は1年以上、13回以上の会議をもって答申が出たにも関わらず、なかなか実現ができなかった。それは、数多くの問題があったということだと思っますね。それをわずか3回の会議で結論をつけしてしまった。あたかも、はっきり言わせてもらえると、教育委員会側が、この山岡1校ありきで結論を出すような会議の進め方をしたんじゃないかと僕は感じてるんです。だから、その辺のやり方に非常に不安と言いますか、こんなやり方でいいのかなってことを感じておりますので、そういうことは全く問題ありませんか。

教育長 ありがとうございます。それぞれスタートは、実はもう平成20年に小規模教育

検討委員会ということで、そこからスタートしております。その中で恵那南地区の学校については、中学校ですけれども、今後人数が減っていくことも考えると、1校に統合した方がいいのではないかと、というような話し合いがされました。もう1つは、でも小学校も減っていくんだけど、小学校は残しましょうと。統合ってことは考えるのをやめましょう。というようなことが、その時の検討委員会で話し合いがされております。しばらく経ちまして、平成26年の恵那南地区の中学校あり方検討委員会で、再度検討された時に、5校を1校にした方がいいだろうと。そして、再編委員会というものを立ち上げて、場所とか時期を検討した方がいいのではないかと、ということで、その後再編委員会が行われました。そこでは委員が30名ほど、もう少しいましたけれども。いる中で、2年かけて色々話をされた中で、それぞれの意見、本当にいろんな意見が途中出ておりましたけれども、最終的に1校で統合と。山岡に新築としたらどうかということで答申をいただいております。それぞれの会で十分に、各地域からも代表に出ていただいて、話し合いをされた上に、今回、教育環境等検討委員会で、それまでの経緯もお話をした中で、その上で、最初の検討委員会では、教育委員会が早く進めていかないがためにこういうことが起こっているのではないかと。だから、私たちも検討はさせていただいた中で、やっぱり子供たちのことを考えたら、早く進めてほしいということで、結論を出されましたので、今までの色々な委員会も踏まえての今回の会でございますので、私たちが仕向けたとか、そういうわけではございません。説明は十分させていただきました。

参加者 吉田、吉良見在住の寺澤と申します。よろしく申し上げます。前向きな意見ということで、私は思っております。保護者の立場として。私、令和2年度のPTA会長をやっておりました。今、運営協議会のメンバーとしてやっております。私子供2人いるんですね。1人中学生1年生で、小学校4年生の子が1人いまして。この合併問題、統合問題に関しては、私吉田地区に住んでいるので、吉田こども園・明智こども園の統合と、吉田小学校・明智小学校の統合で、全部経験してるんですね。3回目なんです。私の子育てはほぼ統合問題でずっと行って。なので、この中学校の再編の問題に関しても、自然の流れというか、もうそうなっていくだろうっていう予想がついてます。私としてはもう前向きに受け入れるという形です。これも時代の流れというか、この地域の流れというか、これを見れば明らかにそうなっていくだろうっていうのがあるので、それに合わせるような形で、やっぱり子育てしていかなきゃいけないっていう気がしてます。

先ほど若い方が子供に聞いてみたらどうかっていう意見があったと思いますけど、私聞いてみました子供に。4年生の子に、どうなのって。まずですね、今小学校に通って、その子は明智小学校から通っているんですけど、もし吉田と明智が統合していなかったらですね、吉田小学校に通ってるってことになるんです、現時点で。そうすると1クラスですね、7人くらいですよ、多くて。そのところでやってる。じゃあそれをちょっと想像してごらんって。想像

してもらおうと、「えー」って。「やっぱり今のがいいな」って。私はですね、それを聞いて、やっぱり今統合して、明智小学校に通ってやっていると。今のほうが、統合してからのほうがやっぱり楽しいと、良かったと。友達も多くできるし、勉強もできるしで。明智の友達ができて、明智の子供と遊びに行けるし。それに対して親がやっぱり負担は増えます、当然。だけど、子供にとってみたら、親としてはもうどんだけ負担をしてでも、やっぱり子供の幸せを考えますので、そういった負担を受け入れるっていうことですね。それで今やっております。私の子供は今、陸上競技をやっています。明智クラブっていうのがあります、山岡の子も明智の子も一緒にやってるんですね。そうすると、山岡の子と友達ですわ、もうすでに。あの子と中学校行ったら一緒に勉強できるとか、友達と遊べるとか。良かった、良い良いつて言うんですよ。なので、統合するにあたっては、やっぱり小学生のうちから交流を持って。中学に入った時点で、もうあの人知ってる、この人は知ってるというような、その変な壁は取っ払った状態で合併させていただきたい。そういう交流をやっぱり進めて合併。私の息子は4年生なので中学2年の時に合併で、途中で合併になるので、やっぱり3年、2年、1年は当事者なので、負担はやっぱり大きいと思います。3年生が特に高校試験を控えていますので、その3学年に対しては、やっぱりもう今のうちからもうどんどんどん、これ遅いぐらいかなと僕は思ってるぐらいで、もっともっと交流を早く始めて、準備をしていただきたい。特に3年生の時にそう思います。その3学年はやっぱり大変かなと思うんですけど、その以降ですね。入ってくる子たちにとっては、私がさっき言った出生数とか、クラスの人数とか見ると、やっぱりうちの子が言うように、少ない数でっていうよりは、やっぱり統合して町村が増えたって3クラスですよ、私3クラスは多いとは思わないですけど。まだそれでも3クラスなんで、その中で5ヶ町村の子供たち、要は5つの文化が触れ合えるということなんですよね。なので、その文化をうまく、お互いに刺激し合って、明智の子は岩村で岩城行ったり、歴史を勉強したり。串原の中山太鼓を習ったりとか、山岡の寒天作りを習ったりとか。逆に明智の他の4町村の子供たちが明智へ来て、明智の大正村とか、明智光秀のことだとか、もっともっと触れ合うとか、こういう交流がもっともっと僕はできるようになるなという気がして。だから、そうすると子供って活動範囲も増えるし、行動の方も増えるし、友達も増えるんで。それは地域にとっても僕はプラスになってると考えるので。私、ほとんど進めていってほしいというか、そういうにして考えてやっていけば、いろんなものにプラスの方が大きくなっていくように仕向けていかなきゃいけないな、という気がします。そういった学校作りっていうのをしてほしいです。

教育長

ありがとうございます。私たちも、不安の部分もたくさん聞いておりますし、そういうことについて1つ1つ丁寧に対応しながらも、この4月からですね、取り組めることは取り組んでいきたいと考えていますし、今教えていただいたように、学校の先生に聞いてみると子供たち、割と他の地域の子供たちとも交流している子もいますよ、という話も聞いていますので、そのことも含めて、

学校は学校でできることをどんどんしていきたいなということ思っておりますので、よろしく願いいたします。

参加者

宮町の伊藤と言います。委員会については、議事録が恵那市のホームページで見えますので、それ見させていただいたんですけれども。まず、学校の適正規模ってということについては、ご説明があった通りで、まさにその通りよろしいかと思っておりますけれども。この委員会の中でですね、アドバイザーって大学の先生ですかね。言ってみえましたが、通学地域、区域の距離のことをだいたいで見えて、あと適正規模ってということについては、オンラインの活用もできるんでってようなことはアドバイザーとして発言してみえたってことが書いてありました。それで、中日新聞の2月12日の岐阜県版、ここに恵那市南部の5中学計画ってということで、記事が載ってるんですけれども、議事録を見ても、あまりにも学校の適正規模ってことばかり議論されていて、通学の区域の広さってということについて、少し議論が足りなかったように私感じてまして。この記事の中でも、5地域を合わせた面積は岐阜市や名古屋市より広く、通学距離は最大25キロを超えるとあって、そもそも5つの中学校を1校に統合する事例は、全国的にも珍しい。ここで、和光大学の山本教授の意見ってということで、「これだけ中距離の通学が必要となる統合のケースは、全国的に見てもかなり珍しい。距離的にも生活圏の違いを見ても、無理がある統合計画だ。地域性が違う学校を統合させて、中学校が荒れてしまったケースも多くある」ってことを言ってるんですけども。この記事の内容ってというのは承知してみえると思うんですけども、これに対してどう答えるのかっていうことをぜひお聞きしたいです。

教育長

ありがとうございます。まず、通学区域が広いってことにつきましましては、おおむね1時間以内に通学ができるよう、これからも工夫していきたいと考えています。それで、私たちのアドバイザーをやっていただきました玉置教授って岐阜聖徳学園の教授ですけれども、つい最近も会ってきました。通学のことについては、時間があるんですけども、その中での過ごし方を含めると、また別の意味が出てくるのではないかっていうこともアドバイスをいただきました。そのことも含めて、全く問題がないというか、課題がないわけではありませんので、課題を1つずつ、解決しながらできるだけより良い、1校で良かったな、そういう学校を作っていきたいと考えています。それから大学の教授の方のご意見は、そういうご意見もあるし、考えなければならないことがあるなという風に受け止めさせていただきました。

参加者

2つほど質問をさせていただきます。あ、1つだけですか。はい、分かりました。私、今現在、山岡でスクールバスの運転手をしております。東コース、西コースとありまして、西コースだけでも、小学校からスタートしまして、小学校に帰ってくるまでに、山岡町内で30分かかります。西（正しくは東）コースにあたりましては35分かかります。今教育長さんが言われましたように、車の中で、バスの中で色々検討すればいいという話なんですけども、現実的に今、小学校の子供たちが乗っておる状態ですと、いろんなことを考えておるようなゆと

りも 何もないみたいです。それで1時間かけて、子供が通学のことにに関してですね。色々なことを考えればよろしいという、教育長さんのその考え方がですね、安易な考え方をしてみえるのではないかなかと思います。小学生の子供ですら30分間の間にですね、10分から15分の間、寝る子供もおるわけです。これが中学校の子供となりましてですね、放課後クラブ活動した時にですね、バスの中で寝られる子がおる。もし寝ておってですね、咄嗟の場合に急ブレーキをかけます。その時に、子供さんが寝ておったことによって、車内事故が起きます。そういう時には、学校が責任を取っていただけるのか、運転手が急ブレーキをかけたから運転手の責任だよと、そういう形で持っていられるのか、この辺はよくわかりませんが、ただ、今の小学校の子供ですら、10分から15分の間でも、バスの中で寝る子がものすごく多いです。それがここに書いてありますように。時間が短くなるように、バスの本数や路線を考えておけば、1時間以内に通学できるか。スタートから学校まで来るのに、どこのコースを取ったとしても、1時間以上かかるのはかかるわけなんです。これを安易にここに書かれておることを考えますと、どういう形でこういう回答されたのかっていうのが非常に不思議で仕方ないんですけども。以上で質問終わります。

教育長

ありがとうございます。安易にそこに数字を載せているわけではございません。実際にこうやって説明会へ行った時に、実際シミュレーションしたのか、というようなご意見もありました。以前の会議の時にもシミュレーションしておりますけれども、改めて今回市の方で、バスではないですけれども、少し小さめの車でしたけれども走らせてみました。もちろん、お子さん何人どこで乗せるかにもよって違うんですけれども、今想定できるところでやってみて、50分程度で遠いところからも来ております。これにつきましては、来年度に向けて議会の方に予算を提案させていただいておりまして、バスのシミュレーションと校舎の基本設計について行っていく中で、十分検討していきたいと思っております。それから、安易に考えるとかそういうことではなくて、例えば勉強もできるかもしれない、友達と話をすることができるかもしれない。それから場合によってはWi-Fi等をバスの中で繋いで、タブレット等で何かこう学習したりとかってすることもできるかもしれないっていう。色々な可能性があるんで、そういうことも含めて考えていきたいということで、安易にものを申しているわけではございません。それから中学生ですので、小学生よりは多少体力あるのかなってことを思うんです。中学校1年生っていうのは、私も中学校の経験が長いんですけども、やっぱり入学した頃疲れるっていうことは確かにその通りでございまして、だんだん体力もついたり、過ごし方も工夫して変わっていくものであるのかなって思います。寝てしまう子もいるんじゃないかっていうことなんですけれども、それは例えばお互いにどこで降りるかって分かっていたら、もうすぐ着くよって隣の子が教えてあげるっていうこともできるかもしれませんし、いろいろなことができると思いますので、そんなことも含めて考えていきたいと思っています。

参加者

初めて今日参加したんですけど、いろんな世代の方が真剣に将来のことを考

えている姿を見て嬉しいなと感じたのと、統合は人口が減る中では仕方ないのかなと。ただですね、恵那市の方では人口減少するっていうのも前提にして考えてるのがなんか悲しいなと思ってまして。教育委員会さんの方ではまちづくりっていうのを具体的にどのように考えてるのかなっていうのが知りたいところです。実際、私が5年間子育てをして、公園使いづらいな、明智の森の遊具なんて昭和62年の寄贈のものなんですけど、そういうのを見ると隣の市の瑞浪市とかは、住宅団地のところに小さいながらも使いやすい遊具が定期的に更新されながらありまして、子育てしやすい環境だとか、やっぱり遊びに行くはそちらの市に連れていくことが多かったです。今こうやって統合するのは仕方ないと思いますけど、今後人口を減らさないために、どのように恵那市の皆さんは取り組んでいただけるのかってことと、実際こう減っちゃったからこういう風になってるんで、やっぱり魅力的な市づくりができてなかったんじゃないかっていうところを思っていたら、今後魅力的なまちづくりってのを具体的に見せていただけると嬉しいなと思います。

教育長

ありがとうございます。市としてどうなんだっていうことをなかなか申し上げづらいところはあるんですけども、市としましても地域振興ということについては、よく考えておりますし、地域でも色々と考えて取り組みをさせていただいていると私は思っています。例えば、高校生までの医療費が無料っていうのは、東濃では恵那市だけです。なんとかして、人口減少って言いますか、人が来ていただけるような市にしたいっていうことは市も一生懸命考えております。地域振興として市としても考えておるところにご参加というか、積極的に加わっていただいて、一緒に考えていけるといいのかなと思っています。ただ、私どもはまず子供たちの教育環境のことを第一に考えていきたいと。その中で、地域との関わりもっていうことで言いますと、今の学校運営協議会とかですね、地域学校協働活動で、地域と繋がりながら学校もやっていこうという、そういうシステムを作っておりますので、そんなところでも地域振興等について、学校が関わられるようなこと等についても、積極的にやっていきたいなと思います。

参加者

失礼します、藤田と申します。今日の資料、詳細に作っていただき、ありがとうございます。感想と質問、1点お願いします。

まず、統合による効果。色々見させていただいて、私も小学校1年生と4年生の子供がおりますので、ちょうど関わってくるようなことかなと思うんですけども、統合による効果というよりは、これは教員がどう関わるかっていうところかなという風に思ってるので、小規模校でもコミュニケーションをどう取るかとか、切磋琢磨する教育ができるっていうのは、なんか統合したからと言って、こういうことがなんか明らかになるかなっていうのはちょっと疑問に思いました。

質問です。そういう中でこう通学距離とか、学びの環境を大きく変わるっていうところで、山岡に1校っていうよりも、2、3校なのかどうなのかっていう話も実際聞いておりまして、私もそういう案もあるんだと思って、Q&Aの方も見

させていただいて、会議録ですね、議事録も読ましていただいたんです。そういうところ、どうも2校、3校分けて考えるっていう議論がちょっと見当たらなかったんです。どの辺りでそういった議論がされていたのか。平成27年の検討委員会の中でも、1回目にはもうすでに1校でやるって言い切ってますし、それ以前にあったのかどうかとか、その辺が会議録から読み取れなかったのもうすでに1校ありきで進んでるのかなっていう感じを受けてしまいました。もし、どっかに載ってれば教えてください。

教育長

ありがとうございます。会議録というのは詳細に載っているものもあれば、要旨だけということもあるので、あるかないかっていうことをちょっと今即答できないんですけども。私、平成27年の恵那南地区中学校再編委員会には、1年ですけども後半の1年関わらせていただきました。そこでは、やはりそういうようなことについても、何度も議論をこうされているなっていうことは感じておりますというか見ておりますので、その27年度あたりが中心かなということを考えてます。ただ、その前の26年とかも含めて、やはり2校3校ってのは、十分考えられていたと思います。それから、先ほど効果のことについても言われましたけども、確かにおっしゃるように、環境の中の1つが教員ということでございます。教員の数が増えればその分教員の質も高まっていく。例えば、ある教科を1人だけで持っている先生が多いんですけども、それが2人とかになれば、相談もできるし、色々情報共有もできたりするってこともありますので、より質が高まるっていうことは、十分考えられるかなと思っています。

参加者

すいません、ちょっと話すのがあまり得意じゃないんで、こんな感じで伺いたいんですが。僕は山岡にいまして、山岡の保護者説明会に出さしてもらったんですが、その時に3校の学校が素晴らしいよっていう話をお伺いして、僕はずっと1校で、あーごめんなさい、3校じゃなくて3学年ですね、学級があるのが。いいですよというのをずっと言われまして、僕は1クラス34人のクラス替えない学校で育ちまして、僕らがそんなに劣ってたのかなっていうのをすごく感じて。これちょっと、僕それまでは1校でもいいのかなっていう気がしてたんですけど、それを言われてからちょっと疑問に思っ。ちょっとこれはしっかり知りたいなと思って、どこか教えてくれることないかなって色々調べたら、統合問題を専門にやられている教授にたまたま連絡がついて、その方にお伺いしたんですね。本当に3学級ある学校が良くて、小規模校はやっぱり先生が専門じゃないんでダメなんですかね、っていう話をさせてもらった時に、その方は、いろんな学校が合併した後に、その学校に入って研究までされとる方だったんです。そういった統合したところを見た中で、本当に統合して地域の分裂みたいなことが、やっぱり中学校の思春期の中では起こったところがあると。いじめなんかもやっぱりあって、クラス替えをすればそれがなくなるんじゃないかっていう話なんですけど、それはやっぱりクラスを替えても引き継がれてしまうと。不登校になった子とかがやっぱり多いっていうのも お伺いして。これちょっと本当に不安だかっていうのを感じて、本当に1校でいいのかなっていうのを今ちょっと疑問に思っているんですが。本当にそういう、やっ

教育長

ぱり調べられている方がいまして、これ5年前に決まった時とは、やっぱり今統廃合が全国的に進んでいて、かなりいろんな結果が統廃合して出てきとると思うんですね。そういう詳しい方がやっぱり見えるので、そういった方の意見を聞いて、それで本当に安心して、先ほどの方も言われてましたけど、新聞に載るぐらい大規模な面積の合併で、やっぱり地域ごとの特色もありますし、そういったものが一遍に5つも集まるっていうのは、やっぱり全国でも異例なことだということで、そういったところの研究されてる方が見えるので、そういった方の意見を聞いて、本当に安心して1校でいけるんだっていうところへ、やっぱり持ってっていただけるようなことをしていただきたいなと思います。ありがとうございます。私も統合した学校に勤めたことがあります。具体的には恵那西中学校でございます。恵那西中学校も3校が一緒になった学校でございます。その後もいくつか中学校を経験しておりますけれども、統合したからいじめが起きるとか多くなるとか、そういうことではないと私は思っています。いじめってまず私たちの捉えとしましては、どこでも起こり得ると、そういうスタンスで学校は進んでおります。人間関係の中で色々なことが起こりますので。それでいじめっていうのは、本人がいじめられたと感じたらいじめだと私たちは捉えて対応しているわけです。ですので、人数が多くなればトラブルも確かに増えることもあるかもしれませんが、それを乗り越えていけるっていうことも大切ですし、そのために私たちも支援をすることは大切かなということも思っております。それから、今の小さい学校がダメだとか、そういうことを私たちは言ってるのではなくて、より良いついていうことにご理解をいただきたいなと思っています。今どの学校も 教員も含めて一生懸命やっていますし、子供たちも本当に素晴らしい姿を見せておりますけれども、統合すれば、さらに良い環境で、勉強できるんじゃないかということを私たちは考えているので、進めているということでございます。

それから、34人1クラスでダメなのかっていうことなんですけど、いろんなお子さんがいます。人間関係で苦しんで、学級替えができる規模で言いますと、学級替えの時にこういうことを配慮してもらえないかと、保護者の方からも、切々にご意見をいただいたりすることもやっぱり実際にあるんですね。そんな中で、ある程度の規模で、学級替えができれば、そういう人間関係にも配慮して、4月、「よし、また頑張ってみよう」っていう気持ちでスタートできる子もいるということは、私の今までの経験の中でありましたので、そのことも含めて整えることができたかなということを考えています。

参加者

今、中学校2年生と6年生の子供がおります。私の住んでるところは吉田地区になりまして、こども園の合併を経験しました。そのもっと前に吉田小学校の合併もありました。その中で、小学校が合併した時に、吉田小学校の子が明智小学校に行った時に、やっぱりちょっと過ごしにくかった子がいました。こども園が合併した時には少ない人数だったので、たくさんのお友達の中に入れて楽しかったっていうのが、うちの子の意見でした。1番最初に統合の話が出た時に、今の中2のうちの息子が中1の時に合併をするということを最初聞いて

おりました。その時に実際合併されず、その時になんでそこで合併されなかったのかってということが何も説明がなかったんです。そこがまず、説明して欲しかった。子供たちも「なんだ合併しないんだ」っていうことを言っていました。実際今回こういった話が出てきて、中2の息子はさっきの方と一緒になんですけど、陸上っていう競技の中で山岡中学校の子と一緒に練習をしています。そういう外の学校で友達ができ良かったってことを言っていました。今度6年生の子なんですけど、6年生の子は今回の合併する時には高校1年生になります。その子は「なんだ合併しないのか」と言いました。子供たちにもよるんですけど、合併することに不安な子もいますし、合併してほしかったって思う子もいます。先日の小学校の授業参観の時に、子供たちの意見を聞いてほしいという質問があった時に、子供たちの意見は聞きませんと教育長さんがおっしゃられて、今そういうお話を小学生の子たちにしても、ちゃんとした答えが出せないじゃないかっていうようなお話があって。おっしゃることもわかるなどという中で、じゃあ今合併するはずだった子たちとかの意見、そういう意見を聞いたら参考になるんじゃないかなと思いました。そういう子供たちの気持ち、これから当事者っていう子供たちの気持ちももちろんですし、当事者じゃなくなっちゃったって思ってる子供たちもいるので、その子たちの気持ちも酌んでほしいし、その経験を踏まえた上で、各学校の交流をしていかないと、メンタル面が、子供たちはちょっと不安なところもあるので。本当言うと、今後の3年間じゃ本当は足りないと思うんですけど。でも、早急にやらないと正直言って間に合わないと思っています。なので、子供たちの気持ちを、当事者じゃない子供たちの気持ちも聞いてほしいです。お願いします。

教育長

ありがとうございました。進め方が遅かったというかですね、この前の答申をいただいてからこんなに時間がかかってしまったということについては、本当に申し訳ないということを思っております。課題もいくつかあったということもあるんですけども、私たちが説明不足の部分もあったりしましたので、その辺については本当に申し訳ないと思っています。また、様々なお子さんがみえて、考え方も色々だになってことも十分分かっておりますし、ちょっと私の言葉が足りなかったのも、全然意見を聞かないっていうのは、賛成か反対かとか、そういう聞き方は良くないなと私は思っていますので、そういう聞き方はしないけれども。もちろん、これから学校生活が4月からスタートする中で、直接統合という言葉を使うかどうかは別ですけども、そのことについても、学校でも考えたりとかですね。そういう場面も作っていききたいなとも思っていますし、それから、他の学校との交流、そういうことも意図的にですね、意識的にやっていきたいということも思っておりますので、今おっしゃられたことも心に留めながら進めていきたいと思っています。本当に貴重な意見ありがとうございます。

参加者

教育長さんが通学でシミュレーションされたということは、どこの地区を行かれましたか。

教育長

はい、5地域全部シミュレーションさせていただきました。

参加者 じゃあ阿妻とか東方とか才坂とか行かれました。

教育長 はい、そちらの方も行かせていただきました。

参加者 どのくらいかかりました。

教育長 32分です。

参加者 そうですか。でも、通学距離っていうのは家から出た場合ですよ。

教育長 そうですね。

参加者 遠くから来る子についてちょっと心配なんですけど。

現在、中学生だいたい1時間程度で通っていますよね。でも、この資料を見ると2時間かかるっていう資料も出ていますね。そうすると、ロスタイムって考えると、1時間、毎日余分にかかっていることになりますよね。それが3年間だと600時間です。24時間で割れば、約1ヶ月近くになりますよね。遠くから来た子はその間、先ほどWi-Fiをやればとは言われますけど、恵南地区は曲り道もあれば坂道も多くって、勉強したいと思っても、バスの中ではバス酔いしたり、目が悪くなったりしますよね。そんな生徒たちがいるっていうことについて、その子たちをどうケアされるのかをお聞きしたいです。

教育長 ありがとうございます。まず、家から出たの時間ということですけども、それにつきましてはこれから、様々なルートを検証しながら、バス停どこに置くかということも含めて、検証していきたいと思っています。確かに通学の時間が負担になるっていうことも考えられるんですけども、そのことについてもより良い方法を、とにかく少しでも短くということも考えておりますし、それから過ごし方や安心安全にということも含めて、これからシミュレーションをしながら検討していきたいと思っています。

参加者 なんていうかな。瑞浪市だと、バスの中30分以内、バス停500メートルっていうような基準が出て、「あ、それなら仕方がないな」という風に納得されたと聞いております。なぜ恵那市はそういうことが出せないんですか。あとで決めるんでは納得できません。

教育長 ですので、基本的には1時間以内っていうことをまず考えております。

参加者 失礼します。中学校は義務教育ですよ。みんな、日本国民全員が必ず同じ教育受ける状態ですよ。でも、人数的に兼務教員ということになりかねないという状態を今、各町村長受けてると思います。今回合併して、本当に専任の先生で、子供たちがみんな平均してそういう教育を受けれるっていうことが、私は子供たちにとって、1番大事なことじゃないかと考えられます。それと、父兄の方たちみんな、ほとんど今ご意見いただいた方は、前向きの検討をしてみえます。私どももうおばあちゃんでございます。それも、後期高齢者になりました。ですから、本当にこの先ね、子供たちのことを考えたら、義務教育として中学校を卒業していただきたい。そういう教育をぜひ今の子供たちに受けさせてあげたいというのが私の思いでございます。本当に前向きに検討して、なぜこの恵南1校になったかっていうことも、今後の人数、さっきの出生率から色々見ましたけど減ってはきます。これから、またどういう風になるかもわかりません。だけれども、みんなある意味統合をしていただきたいと

いう親さんたちのご意見をよく踏まえていただきたい。あるべき姿、中学生としてあるべき姿。この3年間の間に、次の高校のステップが、岐阜県は岐阜県内の校区が取り外れて、どこへ行ってもいいことになりました。そう思いますと、ますますこの中学校、大事な時期だと私は考えております。お父様方、お母様が本当にこの時期しっかりと考えていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

教育長 ありがとうございます。今、おっしゃっていただきました。1つ大きな環境として、教員があります。教員の配置につきましても、より良い教育をできるようにということで、今から計画的に配置を考えていきたいと思っております。また、各地域で、全く知らない先生ばかりになっちゃうのかとか、そういうご質問もいただいておりますけれど、もちろん各中学校、それから小学校からですね。その時勤めて見えた先生をできる限り入れてですね、知った先生もいるという中で、安心しながら学校生活が送れるような、そんな配慮をしていきたいと思っております。

参加者 すいません、統合によってより良いという風なお話ありましたが、資料が2つあるんですが、仮称とついてない方の資料が22ページのところなんです、先ほども少し触れられた方がありますが、統合することによっていろんな地域の人が集まってくることに對しては、それは多分、子供も生徒も不安だろうし、保護者も不安だと思うわけです。22ページを見ると、統合による効果としてこう書いてあるんですが、これある意味、これはコマーシャルですから、うちの車は燃費が悪いなんていうコマーシャルはないわけだけでも、こういう問題をみんなで考える場合に、やっぱり問題点も出してほしい。虚心坦懐に。僕は又聞きのようなことで申し訳ないんですけども、また、固有名詞を出して申し訳ないんですが、恵那西中が統合した後、なんか荒れた時期があったらしい。生徒の川柳に「割れる音、さっと西に、ガラス屋さん」というものがあつたそうです。ガラスがよく割れたそうなんです。ちょうど岡田さんがその時に勤めてみえたと言われました。そういった経験からも、そこだけが問題じゃないけども、こういう問題点もありますよということも出していただく。いいことばっかじゃないはずと、この資料を見ながら思います。その下の学校で身につけたい力、それは先ほど言われた方があります。適切な人数じゃないと力がかからないのかと。これは教育長さんがより良いという風に言いましたが、それからもう1つ。その次の23ページ、24ページのところ。もう1つの資料には先ほど言いました（仮称）恵那南地区中学校と書いてあって、仮称にしては変な名前だなと、最初思ったわけです。どこかにも仮称なんかありました、24ページでは（仮称）恵那南中学校という風になっています。同じ仮称なのになんでこう違うの。表紙では、恵那南地区中学校。なるほど、恵南地区の学校のこと、仮称はおかしいけどと思ったんですが、中身見ると恵那南中学校となっている。僕のうがった見方やけど、今までの意見の中で出たで、なんか最初の皆さんの意見を聞くとアンケートを取るとか、色々あるけども、たった3回の会議で決めちゃったような、どっかで知らんうちにぱっと決まったよう

な、そんな感じがこの表記に思います。要望と感想です。

教育長 ありがとうございます。まずすみません、ちょっと言葉の統一ができていなかったのかもしれませんが、恵那南地区中学校ということは、恵那南地区の中学校の再編についてということでございます。今の24ページで言いますと、新しく統合した時にできた学校を仮称で恵那南中学校と呼ぼうと、という。ここではですね。

参加者 こっちの方に。

教育長 Q&Aですか。

参加者 Q&Aの方に仮称と書いてあるので。

教育長 はい、そうです。恵那南中学校ということは、恵那南地区の…。

参加者 こっちは恵那南中学校になっちゃってるんですね。

教育長 それは統合したあとの学校の名前を、仮にそうやって呼びましょうということでございます。それからデメリット、メリットにつきましては、まず1つ考えられるのは、皆さんが不安に思われてることは、やっぱりデメリットという捉えはできるかもしれないなと思っています。それから、こちらのQ&Aには、デメリットってということで、いくつか書いてございます。これからも、他にもですね、不安なこととかありましたら、そういうことについても、Q&A等でお答えしていきたいなということを思っております。よろしくお願ひいたします。

参加者 はい、恐れ入ります。本日の感想も含めてちょっと話したいんですが、父兄の皆さんの意見が非常に重く感じる事ができまして、合併に向けて子供たちがどう育っていった方がいいのか、ということを実際に考えてたらいいなという風な思いをしました。それで、あと、この説明会は明智でございますが、話に聞きますと恵南5ヶ町村で順次されるということですので、今私の感想で言うと、合併してですね、皆さん良い教育をできるようにしたいという意見だということを感じておりますので、次の各地域のですね、会議の中でもですね、そんなこと、明智もこういうことだったということもですね、参考にお話をいただきながらですね、進めていただければという風に思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

教育長 ありがとうございます。それぞれの地域でですね、他の地域はどんな様子だったかということも聞かれることもありますので、それにつきましては、心配なこと、それから、やはり2校ではダメなのかっていう意見も出ましたとか、そういうことはお伝えをしていきますので、お願ひをいたします。もちろん、この地域が反対だった賛成だったということではなくて、実際にこういう意見がありましたよということは、紹介をする場があればしたいと思います。ありがとうございます。

参加者 市場の山田と申しますが、こういう説明会をして、例えばこれで決まっていくなわけですか。議会だとか、そういうものの中で、今度の議会で上程されるだとか、そうしてそこで決まるのか。こうした説明会をこう紆余曲折って言うわけじゃないですがこうして行って、先ほど出ました、1校じゃなしに2校にするだ

とか、そういう案も出てきた中で、まだちょっとこれは、今現在の親さん達で言えばあれなんです、今日見た感じでも、私ももう相当の年なんです、やっぱり地域の中で学校がなくなるっていうのはね、単純に言えば非常に不安なんです。それをこうした中で、言葉は悪いんですが、ガス抜きのような形で、意見は意見として聞く。そうして、その中で進めるべきは進める。そういう感じで進めていくっていうのは、非常に不安を感じます。もっとそうすれば、ここで教育委員会の方々がそれは言えることではないですが、議会の方で決めていくわけですね、きっと。ここで決まるわけじゃないですからね。その点が今回の例えば3月議会だとか、そういうものの中でどういう感じになるのかっていうことをちょっとお聞きしたい。

教育長

ありがとうございます。議会が今始まっておりますけれども、最初の市長さんの所信表明の中で、恵那南地区の中学校の統合については進めていきますということをおっしゃられました。それからもう1つ、この統合に向けての予算を400万、今回当初の予算で計上しております。それについてご審議いただくわけですが、そこでお認めいただければ、それは議会として、統合を進めていきたいと思いますということになるんだと私たちは捉えております。それから、確かに地域から学校がなくなっていくということについて、寂しいなっていう思いはあると思うんですけれども、平成27年の恵那南地区の中学校の再編委員会の時も、それぞれの代表の皆様、本当に自分の地域から学校がなくなるっていうことについて、寂しいという思いがある中で、でも1校でやっていけないかということでの答申をいただいたとっておりますので、その辺は十分私たちも理解しているつもりでございます。

参加者

はい、2度目ですいません。今メリットをたくさん言われたんですけど、デメリットで体力の面ですね、歩くのがなくなっちゃうわけですね。実は僕、福岡中学校が合併した時に、林校長先生が調べられたんですね。その時に、約15パーセント体力が低下したと。その辺は学校教育の中では体力も当然入ってくると思うんですけど、その辺の考え方があるかないか。それでさっき、もうちょっと1つだけ言わせてもらおうと、稲津中学校と陶中学校が統合しました。当初はものすごく皆さん、反対と同時に不安がありました。これはなぜかというと、稲津はやっぱりあれだけ降りてただけで都会だと、子供が元気だと、強いよと、という気持ちがあって、陶中の親御さんたちが、僕は何故知つるかと言うと、僕の家内のお姉さんが孫がおって、そういうことをすごく心配してるということで言われました。実際になって6ヶ月ぐらい経った時に、本当に良かったよって言われた。なんでって聞いたら、子供がすごく元気になったと。それと、さっき言われた地区の問題ですけど、地区の行事に稲津中学校の子がみんな来てくれたということも言われました。ただ、今最初に話したように体力がなくなるというのは、明らかに歩かなくなれば出てくると思うんです。今度、学校の部活がなくなるわけですね、実際には。ある程度はなくなっていくということの中で、その辺の対応策は、教育の場では体力もおそらく入つると思いますが、その辺のお考えはどんなものでしょうかね。

教育長

ありがとうございます。知・徳・体とよく言われますので、学力も大切ですし、体力の大切さは私たちも認識しております。それで、恵那南地区の中学校でやるかどうかは別ですけれども、学校によっては少し遠いところで止まって歩いて行かせるという部分もあるんですけれども、山岡にした時にはそれもあまり現実的ではないなっていうことを考えると、やはり学校で暮らしている時間の中で意図的に走るとか、運動するっていう時間を作っていかないと確保できないと思っております。それから、今おっしゃられたように部活動のこと。今現在でもこの冬場はですね、どこの中学校もほとんど部活が、平日はですね、できていないというのは現実でございます。ですので、部活動の地域移行って言うんですけど、それだけに頼らずに、学校の中でも運動をですね、意識的に取れ入れるようなそんな活動も必要だと思いますし、体育という授業もありますので、そこも体力作りっていうことも含めて、考える必要があると思っております。実際に今、スクールバスに乗っていないなくても、体力が少し落ち気味だなと。女の子たちは、全国に比べて体力はそんなに落ちてないんですけど、男の子が落ちているなというのが、恵那市の現状でございます。スポーツ、体力面、本当に心配しております。体力作りについても工夫をする必要があると考えております。

参加者

すいません、時間も押しておりますので、簡単に話をさせていただきたいと思っております。私立場上ですね、市議会議員の伊藤です。今日この場でお話をするっていうことがいいかどうかということについては、随分迷っていましたが、ちょっと意を決して今日少しだけ話をさせていただきたいと思っております。平成27年から3年間、明智中学校で校長やっておりましたので、地域から明智中学校がなくなるということについては、本当に寂しいことですし、なくなるってことについては、本当に残念に思っています。けれど一方で、今どんどん子供がいなくなっていく中、あるいは少ない子供たちで学習するっていう様子を見た時に、これはやっぱり統合した方がいいんじゃないかな、ということは今思っています。これはあくまで個人的な見解です。1番最初にPTA会長さんが言われたように、多くの方が一体どっちにしたらいいのかっていうことを随分迷って見える部分もあるんじゃないかな、と思っております。今日のこの会議も賛成反対でどうも分かれているような感じがしています。実は先般、私のところにメールが来まして、今、統合中学校で明智が2つに割れている。どっちに転ぶにしても、このまま行くと分断されてしまう。遺恨が残るんじゃないか。そのことに対して心を痛めている、そんなメールをいただきました。これ皆さん方が本当に納得して統合するっていう風になるってのは、なかなか難しいんじゃないかなと思っております。本当に納得とするならば、もうこれ以上なんともならないような状況になって、きっと統合するっていうことだろうと思うんです。けれど、そうなった時にはもう遅いなっていうような感じがして、私はやるなら今しかないんじゃないかなとそんなことを思っています。ただし、仕方なく、ではなくって、もし統合とするならば、本当にいい学校を作っていただきたいと思っておりますし、例えば、西

や東なんかには絶対負けないような学校を作っていただきたいと思うし、ひょっとしたら他の地区からこの学校いいからって言って転校してくるような、移住してくるような、そんな学校を作っていただきたい、そんな風に思っています。

1つにした方がいいという理由。私、3つ考えているんですけど、もう時間がありませんので。1つは多くの仲間や先生と学び合うというのが1つです。特に2つ目、このことについてだけちょっと詳しくお話をしたいと思っています。私の経験ですとか、あるいは知っていることから、ぜひ皆さん方に知っておいていただいた方がいいだろうということで、お話をさせていただきたいと思っています。2つ目は先生の問題です。先ほど、教育委員会からその話もありましたけれど、今、全国的に先生は成り手がいません。不足しています。理由は簡単です。大変だからです。他の業種に比べて、条件があまり変わっていません。時間は例えば、授業時数が半分になるとか、あるいは先生が倍になるとか、そういった状況が変わっていない中で、先生方、今本当に一生懸命やっと思っていただきます。なので、なかなか先生も成り手がいないということは、当然ながら4月1日になった時に、先生の数が足りなくなるってということが起こるわけです。これは現実問題、岐阜県でもそうですし、他の地区でも起こっています。恵那市でも恐らくそうだろうと思っています。例えば、4月1日に200人いるとなった時に、しかし、実際問題は180人ぐらいしかいない。しかも、多くの若い先生方を恵那市に補充しなきゃいけないという状況が出てきています。そして、残りはじゃあどうするかっていうと、講師の先生と、あるいは退職した先生方をもってきて、なんとか、人数を合わせるってというようなことのようにです。で、本当ならば加配という…。

参加者

話長いよ。

参加者

はい、すいません。というような状況がある中で、今大変な状況になってきていますので、これが1校だったら大変なんですけれども、これが統合されることによって、より先生方の勤務は楽になるというか、先生方のチームでもって学校ができる。このことは、子供にとって必ずいい状況を生み出すだろうなと思っています。そんな意味で、なんとか力を入れて、良い学校にさせていただきたいな、そんなこと思っております。長くなってすいません。

副室長

皆様のたくさんのご意見をありがとうございました。時間の方も予定の9時に近づいてまいりました。また、地域の皆さんへの説明会は、この明智を始まりにして、この後4回予定されております。本日、ご意見をもっと言いたいと、お考えの方もいらっしゃるかと思います。そういった他地区での説明会もごございます。また、恵那市教育委員会の方に、ご意見の方をお寄せいただくこともできますので、また、皆様のご意見を伺ってまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

参加者

すいません。先ほどね、2回も当たってる方みえるのに、ずっと手挙げてるんですよ。なぜ当たらないですか。

副室長

申し訳ございません。時間も来ておりますので…。

それではこれにて説明会の方を閉じさせていただきます。本日はありがとうございました。

閉会（午後8時55分）